



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific  
国連世界観光機関駐日事務所

2017年7月25日

## 国連世界観光機関（UNWTO）

### 世界観光指標（World Tourism Barometer）2017年6月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、UNWTO 本部での準備完了次第、

下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

**PR No.: PR 17003**

2017年7月14日(マドリッド)

PR No.: PR 17088 の訳

#### 2017年第1四半期の国際観光は力強い結果に

2017年1～4月間の世界全体の国際観光客到着数は、景況感が過去10年で最高の水準に達している影響もあり、前年同期比で6%増となった。この伸びは多くの主要なデスティネーションにおいて成長が持続されたのと共に、その他のデスティネーションにおける着実な回復により牽引された。2017年5～8月間の国際観光客到着数は引続き堅調に推移すると見込んでいる。

最新のUNWTO世界観光指標(World Tourism Barometer)によると、世界のデスティネーションは、今年最初の4カ月間で3億6,900万人の国際観光客到着数(宿泊を伴う訪問客)を受け入れ、前年同期より2,100万人の増(同期比6%増)となった。春節や復活祭の休暇(春休み)、北半球の冬季、南半球の夏季にあたる1～4月間の国際観光客到着数は例年、年間合計の約28%を占める。

国際観光客到着数は、世界のデスティネーションからの報告によると、わずかの例外があるものの全体的には見通しの良い結果となった。2017 年第 1 四半期において、2016 年に好調であった多くのデスティネーションでは勢いを維持し、前年度に低調だったデスティネーションは回復基調を維持した。これは特に中東（10%増）、アフリカ（8%増）およびヨーロッパ（6%増）の好調な結果において反映されている。アジア・太平洋（6%増）と米州（4%増）も堅調を維持した。

UNWTO のタレブ・リファイ事務局長は「2016 年にネガティブな出来事により影響を受けたデスティネーションが、非常に短い期間において明確な回復の兆候を見せている。これは私たちにとって歓迎すべきニュースであり、特にこれらのデスティネーションにおいて観光に頼って生計を立てている人々にとって喜ばしい知らせである。」と述べた。

また「我々は 2017 年を持続可能な観光国際年として祝い、持続した観光の発展を歓迎し、観光の成長とともに、持続可能性の柱となる経済・社会・環境の 3 つの側面において観光が貢献できるという責任が高まっていることを改めて呼びかけたい。観光の成長を敵視するのではなく、持続可能な方法で管理していくことこそが我々の責任である。」と続けた。

## 地域の結果

1～4 月のヨーロッパ(6%増)における到着数は、安心に関する事象により悪影響を受けたデスティネーションにおいて信頼が戻り、他のデスティネーションにおいては力強い成長を維持し、昨年の複雑な結果から回復を見せた。特に、南・地中海ヨーロッパ（2016 年 1%増と比較し 9%増）および西ヨーロッパ（2016 年 0%増から 4%増）において成長が見られた。北ヨーロッパ（9%増）は、力強い成長を維持する一方で、中央・東ヨーロッパが昨年同様 4%増となった。

アジア・太平洋の到着数は 4 月までの間、6%増となり、4 つ全ての準地域において堅調な結果をみせた。南アジア（14%増）は成長を牽引し、オセアニア（7%増）、東南アジア（6%増）、北東アジア（5%増）がこれに続いた。

米州における国際到着数は、南アメリカおよび中央アメリカにおいて堅調な成長（共に 7%増）を見せた一方で北アメリカ 3%増、カリブ海が 2%増となり、全体で 4%増となった。

アフリカでは、入手できるデータは限られているが、北アフリカ(18%増)での堅調な回復により、到着数は 8%増となった。中東の到着数は、2016 年に 4%減少した後、推定で 10%増の回復となった。

## 5～8 月は前向きな見通し

現在の力強い勢いは、2003 年以降、4 カ月毎の世界の専門家による評価および予測に基づいた UNWTO 観光専門家委員信頼指数(UNWTO Panel of Tourism Experts confidence index)を反映したものである。専門家による 2017 年最初の 4 カ月間における観光実績の評価は、過去 12 年間における最高値となり、これは予測した時の楽観的な予測を明確に上回るものであった。一番前向きな評価を得たのがヨーロッパであり、これは同地域における到着数の回復に呼応したものである。

専門家は、現在の 5～8 月間の見通しに関し、過去 10 年間で最も楽観的であると共に、ヨーロッパへの前向きな期待に牽引されるため、強い確信を持っている。5～8 月間には、世界の主要な観光デスティネーションおよびソースマーケットにおいて観光の繁忙期となる。

※本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。 <http://mkt.unwto.org/barometer>

### 関連リンク：

UNWTO 世界観光指標（ダウンロードはこちらから）

<http://mkt.unwto.org/barometer>

UNWTO Tourism Highlights, 2016 Edition

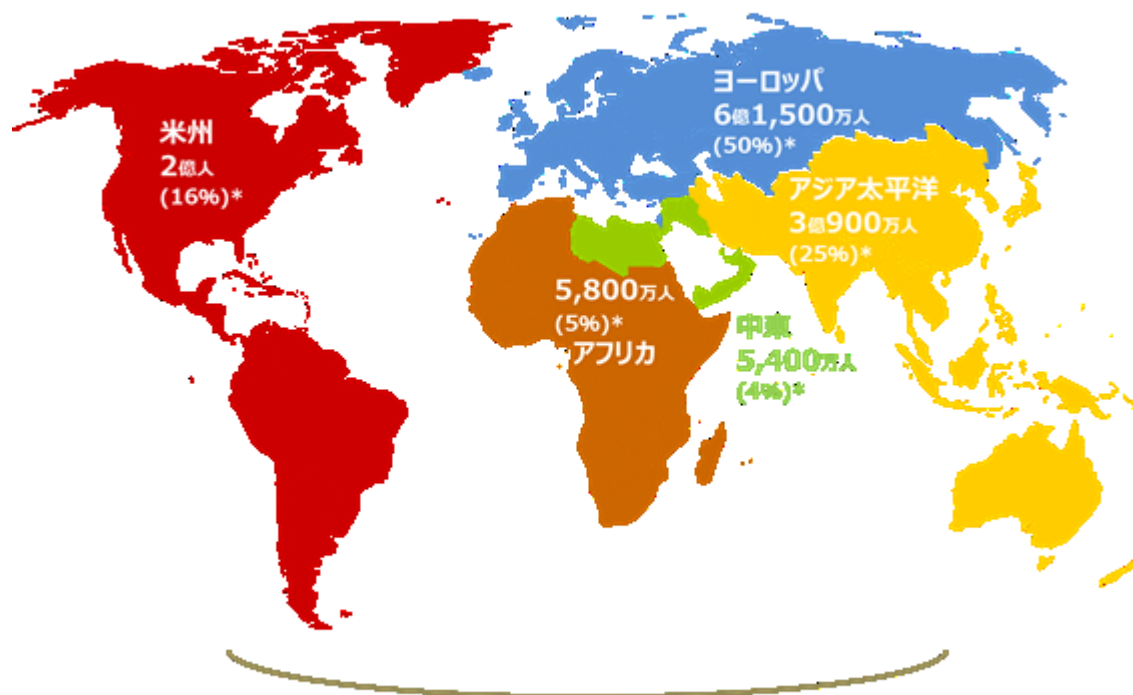
<http://mkt.unwto.org/publication/unwto-tourism-highlights-2016-edition>

Infographics

<http://media.unwto.org/content/infographics>

# 国際観光客到着数 2016

千億人(%)



世界全体：12億3,500万人

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは  
UNWTO 世界観光指標 (「バロメーター」) は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) について  
UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。  
国連世界観光機関駐日事務所は、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

## お問い合わせについて

(メディア専用窓口)

UNWTO 本部 コミュニケーションプログラム

E-mail: [media1@unwto.org](mailto:media1@unwto.org)

※UNWTO 本部へ直接、英語でお問合せください。

英語での質問の方法等のお問合せは、

国連世界観光機関駐日事務所にお問合せ下さい。

(一般受付)

国連世界観光機関駐日事務所

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：吉田、村田

電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883

E-mail: [info@unwto-ap.org](mailto:info@unwto-ap.org)